



汽車の窓から

金子みすゞ

お山であかいは
あれはなに。

あれは櫛はじの木、櫛紅葉はじもみぢ、
なにか怖いな、黒い赤。

お里であかいは
あれはなに。

あれは熟うれてる柿きの實みよ、
見てもうまそな、黄きいな赤。

お空であかいは
あれはなに。

あれはお汽車の燈ひのかけよ、
さみしい赤よ、亡ない赤よ。



『金子みすゞ全集』(JULIA出版局)

表紙の説明 赤崎まつり「楽踊り」 楽棧敷を彩る伝統の舞

9月10日(土)、赤崎神社楽棧敷周
辺で伝統の「赤崎まつり」が開催
され、奉納神事として式三番叟、
二楽の楽踊り、湯本南条踊りが披
露されました。鮮やかな衣装で舞
う勇壮な姿を捉えようと、多くの
カメラマンが訪れ、シャッターを
切っていました。

また、日本全国の祭りをサポー
トする取組「日本の祭り2016」で、「赤
崎神社例祭」が取り上げられるこ
とになり、テレビ番組の取材も行
われました。この日の様子は10月
1日(土)、13時からKRY山口放送
で放映される予定です。



▲吉村作治さんら番組関係者が市長訪問 (9/9)

長門市の DATA

(平成28年9月1日)

人口	35,716人	(-15)
男	16,567人	(-9)
女	19,149人	(-6)
世帯数	16,194世帯	(+27)
()内は先月比		
[8月分] 出生	12人	死亡 57人
転入	97人	転出 67人

編集後記

家の窓を開けると聞こえてくる、軽快な太鼓と鐘の音。2年に一度、江良区の皆さんが「楽踊り月の前の伶楽」の練習に励む音が、私に秋の訪れを感じさせます▼実は私も楽踊りの経験者。小学生のときに二度、「かね打ち」として出演しました。華やかな衣装をまとい、汗を流しながら、楽棧敷の中心で一生懸命かねをたたいたことを覚えています▼あれから12年。カメラを手に向かった楽棧敷では、当時私を指導してくださった皆さんが、まだまだ現役で演者を引っ張っていました▼いつかは私も、40年の伝統を次世代に引き継ぐ役目を担わなければ。あらためてそう感じた一日でした。

